

## 滋賀県内ダム湖でのコクチバスの確認について

河南元希・藤田建太郎(滋賀県立大学大学院) 沢田裕一(滋賀県立大学)

2007年6月4日に滋賀県多賀町にある犬上ダムにおいてコクチバスの成魚5個体を確認し、その内3個体をヤスにて捕獲した。

コクチバスは、北アメリカ原産のサンフィッシュ科の淡水魚で、滋賀県では1995年に琵琶湖で最初に見つかった以来、複数回捕獲されているが、琵琶湖以外では2002年に信楽町の河川で複数個体が捕獲されたものについて2例目の確認となる。

追加調査は2007年6月5日～9月4日に18回行い、8月22日には滋賀県水産試験場と合同でダム湖の沿岸全域の調査を行なった。追加調査はシュノーケリングによる水中目視及び捕獲を行なった。捕獲にはヤス、タモ網、小型地引網、刺し網、さで網を用いて行なった。水産試験場との合同調査ではシュノーケリングを用いて岸から約2mの範囲で2人1組でラインセンサスを行なった。

調査期間中に捕獲したコクチバスは合計で54個体で、うち2007年に生まれたと思われる個体が45個体であった。また捕獲したコクチバスの最大は42.5cmであった。

水産試験場との合同調査において確認されたコクチバスは全部で111個体で、うち96個体が2007年に生まれた個体と思われる。捕獲及び確認されたコクチバスの多くが2007年生まれの当歳魚であったことから、コクチバスが犬上ダムで繁殖を行なっていることはほぼ間違いないと思われる。

今回は2007年の調査の詳細と2008年度の犬上ダムでの調査、及び2008年7月30日に滋賀県甲賀市櫛野の櫛野砂防ダムで確認されたコクチバスについて報告する。